



発行所
日本工業経済新聞社
〒113-0022
東京都文京区千駄木3-36-11
電話 03(3822)9211
FAX 03(3824)7955
URL: www.nikoukei.co.jp

支局
さいたま/水戸/前橋
甲府/新潟/長野/松本

2024

暑中特集号



建設産業を 未来につなげ



Getty Images

4月2日の水循環政策本部会議で岸田文雄総理からの水循環政策の見直し指示を受け、流域総合水管理へ進化した水循環基本計画の検討が進められている。
重点的に取り組むのは▽水インフラの耐震化、早期復旧を実現する災害復旧手法の構築▽非常時における地下水や雨水等の代替水源としての有効活用▽地域の実情を踏まえた、広域化や分散型システムの検討▽上下水道一体のウォーターPPPによる官民連携▽官民連携による水力発電の最大化▽施設の統廃合(取水地点の上流移転等)による省エネルギー化の推進▽漏水対策や治水対策などの適応策の推進▽流域総合水管理の展開など。
同計画は、5年に1度の改定が行われてきたが1年前倒しで作業が進む。
岸田総理からは「流域治水」から、流域単位での水力発電増強などによるカーボンニュートラルの視点も含めた「流域総合水管理」への進化や、国土交通省への水道事業移管による上下水道の一体的取り組み、能登半島地震を踏まえた対応、地球温暖化対策を盛り込み、流域総合水管理を位置付けるよう指示があった。
順調に進めば8月中に見直し計画が決定する。

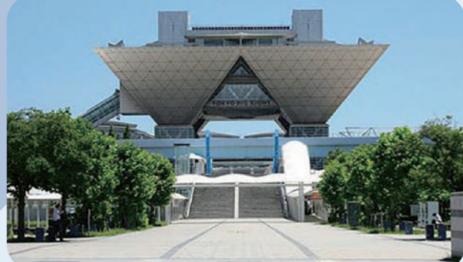
10.3木 ~ 4金

創立60周年記念

全国建設業労働災害防止大会 in 東京

大会スローガン

仲間の声で危険を防ごう、
未来へつなぐ職場の安全



10月3日(木) 開場 10:30
総合集会 東京ビッグサイト



10月4日(金) 開場 8:45
専門部会 東京国際フォーラム



安全衛生保護具・測定機器
安全標識等展示会
同時開催

現地開催とオンデマンド配信を
組み合わせたハイブリッド開催



特別講演
脳科学者
茂木健一郎氏



基調講演
日本航空(株)
機長 石川 宗氏

建設業労働災害防止協会

全国大会



能登半島地震の経験生かして

激甚化・頻発化する自然災害に対応

今後へ提言まとめる

道路、上下水道、港湾など

1月1日午後4時10分、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6、最大震度7を記録した令和6年能登半島地震。地震の揺れ、津波、隆起などが引き起こした道路、上下水道、港湾など社会インフラに多大な被害を及ぼし、地元建設業をはじめ関係機関が協力し復旧・復興に向け懸命な努力を続けている。その一方で、復旧・復興への対応は、地震など自然災害が激甚化・頻発化したわが国にとって尊い経験であり、そこから学び、今後の国土強靱化、災害対策につなげていくための検討が進められている。被災から7カ月を経過していく中で、様々な分野で検討の取りまとめが進められている。

道路ネットワークで緊急提言を行う

国土交通省の社会資本整備審議会道路分科会国土幹線道路部会が令和6年能登半島地

震を踏まえた広域道路ネットワークの緊急提言を行った。全国どこでも同様被害の起こる可能性があるとして、地域安全確保のエッセンシャルネットワークの早期確立・拠点機能の強化、データ活用による災害時交通マネジメントの高度化、道路ネットワークの創出につなげる道路空間の活用などを提言している。その中で、地域の守り手である地域建設業などは、地域インフラマネジメント産業としての役割、基幹産業として持続的発展への環境整備が重要だとした。

地域建設業重要性示す

提言案には、耐震性や復旧性を備えた災害時に機能するネットワーク整備や、機動性の確保、防災拠点としての道の確立、防災拠点としての道の

人工斜面も加え 崩壊対策

国土交通省は令和6年能登半島地震に関連し、県や市町村が実施する災害関連緊急重要傾斜地崩壊対策事業と災害関連傾斜地崩壊対策事業について、採択要件緩和などの特別措置を行うことを決めた。通常は、自然斜面を対象だが、特別に宅地擁壁等の

人工斜面も対象に加えている

放置すれば次期降雨や余震等で周辺の住家、各種公共施設などに被害が拡大するおそれがある場合のもので、東日本大震災や熊本地震と同様の措置となる。

<p>■ 地域安全確保のエッセンシャルネットワークの早期確立</p> <p>耐震性や復旧性を備えた災害時に機能するネットワーク整備 (物流機能も含め地域安全確保のエッセンシャルネットワークとしての適切な機能確保/持続可能な地域づくりへの貢献)</p> <p><新たな知見を踏まえた盛土構造物の緊急点検の実施></p> <ul style="list-style-type: none"> 集水地形上の盛土構造物の早急な点検の実施 災害脆弱箇所に対する計画的な補強等の対策 <p>機動性と持続可能性を備えた管理体制 (適切な管理のあり方の検討/道路啓開等の権限代行の手続き等についての必要な見直し)</p>	<p>■ データ活用による災害時交通マネジメントの高度化</p> <ul style="list-style-type: none"> ドローン活用など地形に合わせた機動的な情報収集体制の構築 交通情報と地理空間情報とのデータ連携とオープン化
<p>■ 拠点機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災拠点としての「道の駅」の機能強化 (防災道の駅)の追加認定、高付加価値コンテンツの活用推進 災害時における交通結節機能の強化 	<p>■ 地域の新たな価値の創出につなげる道路空間の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 半島地域の豊かな地域資源を生かす道路空間の活用 能登半島地域の効果的な復旧・復興 (自然景観を生かした観光道路としての活用/地域公共交通における自動運転技術の導入)
<p>■ 災害に備えた体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設業者等の民間企業との連携 (民間企業による「地域インフラマネジメント産業」としての役割の強化) 代替手段も備えた総合的な防災力の強化 (自衛隊との連携等による海上、航空からのアクセスの確保) 	<p>■ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な価値に対応した評価 (道路ネットワークの多様な価値を適切に評価) 負担のあり方 (負担軽減のための施策) 震災伝承 人材育成 新広域道路交通計画の更新 (建設業を含む関係機関が参加する地域での内容の必要な更新)

道路の提言

提言

都市不燃化なども

消防防災対策のあり方



消防防災対策のあり方について検討

国土交通省と消防庁が共同で進めた「輪島市大規模火災を踏まえた消防防災対策のあり方」に関する検討会、今後の対応書がまとまった。今後の対応策には、地元消防本部等の体制強化、地震火災対策の推進等のほか、都市構造の不燃化や密集市街地の整備改善とい

ったまちづくりも位置付けられた。今後の対応策には、震災時の木造密集地域での活動および津波時の浸水想定区域での活動について、助産した計画の策定、火災の早期発見・情報収集のためのドローンや高所監視カメラ等の整備促進、消

防署・消防団拠点施設(詰所)等消防施設の耐震化・機能維持、消防水利の確保(耐震性貯水槽の設置促進、無限水利を活用した遠距離送水)などを示した。

さらに、地域における火災予防の推進(家具転倒防止対策、耐震自動消火装置付き火気設備、住宅用火災警報器、防災訓練等、大規模地震時の電気火災対策で感震ブレーカー等の普及を求めた。また、まちづくりについては、不燃化や密集市街地整備改善、老朽木造家屋や避難・消防活動上重要な沿道の建築物等の耐震化の促進などを挙げている。要件もフランスされる。

耐震化対応は急務

上下水道地震対策検討委が



下水を集約し処理場まで運ぶための被災現場(珠洲市)

国土交通省は4月から水道事業移管を前に、上下水道一体での早期復旧に取り組んできた。作業を進めていくなかで課題も見えてきている。上下水道とも耐震化された施設は、復旧の長期化を生じさせている。災害に強く持続可能な上下水道システムの構築に向け、上下水道の地震対策を強化・加速化するため、関係者一丸となって推進すべき取り組みを上下水道地震対策検討委員会がまとめた。

▽復興まちづくりや住民の意向を踏まえて、分散型システム活用も含めた災害に強く持続可能な将来にふさわしい整備

▽代替性・多重性の確保と、事業の効率性向上とのバランスを図ったシステム構築

▽台帳のデジタル化や施設の遠隔監視などのDXの推進

▽今後の地震対策

▽上下水道システムの「急所」となる施設の耐震化

▽避難所など重要施設に係る上下水道管の一体的な耐震

化

▽地すべりなどの地盤変状のおそれのある箇所を避けた施設配置

▽マンホールの浮上防止対策・接続部対策

▽上下水道一体の災害対応

▽国が上下水道一体の全体調整を行い、プッシュ型で復旧支援する体制の構築

▽処理場等の防災拠点化による支援拠点の確保

▽機能確保優先とした上下水道一体での早期復旧フローの構築

▽点検調査技術や復旧工法の技術開発

▽DXを活用した効率的な災害対応

▽屋内配管や汚水溢水などの被害・対応状況の早期把握、迅速な復旧方法・体制の構築

する管路などについて、耐震化状況の緊急点検を早急に進め、10月までに点検結果を取りまとめ公表するとの意向を明らかにした。

さらに、緊急点検の結果を踏まえ全国の水道事業者および下水道管理者に、今年度中に上下水道耐震化計画の策定・更新を進めるよう、「地域における計画策定の取り組みをしっかりと支援して」と話している。

年度内に耐震化計画

上下水道 強靱なシステム構築へ



上下水道の耐震化で斉藤大臣

重要施設や基幹管路など上下水道の耐震緊急点検結果を10月までにまとめる考えを示した。また、年度内に上下水道耐震化計画の策定・更新が行われるよう支援を進め、強靱な上下水道システムの構築に向けて地震対策、耐震対策を推進するとの考えを示している。

斉藤鉄夫国土交通大臣は、重要施設や基幹管路など上下水道の耐震緊急点検結果を10月までにまとめる考えを示した。また、年度内に上下水道耐震化計画の策定・更新が行われるよう支援を進め、強靱な上下水道システムの構築に向けて地震対策、耐震対策を推進するとの考えを示している。

上下水道の耐震緊急点検結果を10月までにまとめる考えを示した。また、年度内に上下水道耐震化計画の策定・更新が行われるよう支援を進め、強靱な上下水道システムの構築に向けて地震対策、耐震対策を推進するとの考えを示している。

一般社団法人
建設産業専門団体連合会

会長 岩田 正 吾

〒105-0001
東京都港区虎ノ門四丁目 2-12
虎ノ門四丁目MTビル 2号館 3階
TEL 03-5425-6805
FAX 03-5425-6806
https://www.kensenren.or.jp/

一般社団法人
全国建設産業団体連合会

会長 石津 健 光

〒105-0001
東京都港区虎ノ門四丁目 2-12
虎ノ門四丁目MTビル 2号館
TEL 03-5473-1596
FAX 03-5473-8352
http://www.kensanren.or.jp/

一般社団法人
全国中小建設業協会

会長 土志田 領 司

〒104-0041
東京都中央区新富二丁目 4-5
ニュー新富ビル 2階
TEL 03-5542-0331
https://www.zenchuken.or.jp/

一般社団法人
全国建設業協会

会長 今井 雅 則

〒104-0032
東京都中央区八丁堀二丁目 5-1
東京建設会館
TEL.03-3551-9396
URL https://www.zenken-net.or.jp/

一般社団法人
日本建設業連合会

会長 宮本 洋 一

〒104-0032
東京都中央区八丁堀二丁目 5-1
東京建設会館
TEL 03-3553-0701 (代)

一般社団法人
日本電設工業協会

会長 山 口 博

〒107-8381
東京都港区元赤坂一丁目 7-8
TEL 03-5413-2161
FAX 03-5413-2166
https://www.jeca.or.jp/

独立行政法人
**勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部**

理事長 梅 森 徹
建退共本部 部長 大 澤 一 夫

〒170-8055
東京都豊島区東池袋一丁目 24-1
TEL 03-6731-2866
https://www.kentaikyotaisyokukin.go.jp/

一般社団法人
全国建設業協同組合連合会

会長 青 柳 剛

〒104-0032
東京都中央区八丁堀二丁目 5-1
東京建設会館
TEL 03-3553-0984

一般社団法人
OCAI 海外建設協会

会長 佐々木 正 人

〒104-0032
東京都中央区八丁堀二丁目 24-2
八丁堀第一生命ビル 7階
TEL 03-3553-1631 (代)
E-mail: info@ocaji.or.jp
URL: http://www.ocaji.or.jp

一般社団法人
日本道路建設業協会 会長 西田 義 則

何気ない日も夢に向かって励む日も考えたことはないだろう。
道路舗装のことなんて。
でも、それでいい。
私たちは、「当たり前」を作っているのだから。
IT'S NOTHING SPECIAL.
当たり前をつくる。舗装をつくる。
道路舗装で、夢も日常も支える。

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-5-1 東京建設会館
TEL : 03-3537-3056 FAX : 03-3537-3058
URL : https://www.dohkenkyo.or.jp/

建設業界 最近の話題

7月1日人事異動

吉岡事務次官が就任

現場力の発揮など 幹部職員へあいさつ行う



吉岡事務次官が幹部職員を前に思いを語る

全国の組織で現場力を発揮する... 吉岡事務次官の挨拶...

1日に就任した国土交通省の吉岡事務次官... 現場力の発揮、連携、職

国土交通省の新たな幹部... 吉岡幹夫(よしおか・みきお)...

国土交通審議官 寺田吉道(てらだ・よしみち)...

大臣官房長 村田茂樹(むらた・しげき)...

不動産・建設経済局長 平田研(ひらた・けん)...

水管理・国土保全局長 藤巻浩之(ふじまき・ひろゆき)...

住宅局長 楠田幹人(くすた・みきと)...

3点目は、現場力や政策の効果を発揮するためには、職場環境をよりよくつくりださなければならない...

安全安心な職場を目指す 建設業労働災害防止協議会...



神前で労災撲滅を誓う今井会長

建設業労働災害防止協議会... 安全安心な職場を目指す...

「最新線だけでは足りない。それをバックで支えている。制度を作っている。それも現場だと思ってる。そういうことを含め、現場力を発揮できるような職場管理をしていきたい」との思いを伝えた。

全体3割をオンライン

公共事業労務費調査 関係団体に周知・協力通知

国土交通省は次年度の「格適用を開始したオンライン工事設計労務単価を...

国交大臣表彰 235人3団体に 功労者の栄誉たたえる

国土交通省は10日、2024年の建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰を執り行った。

国土交通省は、受託に、施策を進めていくことと取り組みを説明し、受賞者に各賞状を授け、各賞状に各賞状のリーダとして引き続きの活躍と、協力力の要請し

一般社団法人 jurgc 日本建設業経営協会

一般社団法人 東京都中小建設業協会

一般社団法人 東京建設業協会

建設共済保険 建設業福祉共済団

建設キャリアアップシステム 建設業振興基金

東日本建設業保証株式会社

QuikDeck Light version 日綜産業株式会社

全国仮設安全事業協同組合

JCCA 建設コンサルタンツ協会

全国生コンクリート工業組合連合会

2024年度優秀工事等表彰

2023年度安全優良事業所表彰



東日本高速道路関東支社 支社長表彰優秀工事



東日本高速道路関東支社 工程管理優秀工事、安全管理優秀工事、品質管理優秀工事



中日本高速道路東京支社 安全優良事業所

東日本高速道路関東支社

22社の荣誉たたえる

東日本高速道路関東支社は6月13日、2024年度優秀工事等表彰式をさいたま市内の支社会議室で開催した。支社長表彰には優秀工事8件7社、安全管理優秀工事3件2社、品質管理優秀工事1件1社、工程管理優秀工事4件4社、優秀業務8件8社の合わせて24件22社が選ばれ、工事、業務における功績が顕彰された。千田洋一支社長は「この表彰は高速道路事業の一翼を担い、技術の発展に日々尽力していただいている会社と技術者を顕彰するもの。関東支社管内は高い技術を求められる工事、設計業務が数多くある。深刻化する高速道路の老朽化や、労働力の不足などの課題解決に向け、皆さまの協力に引き続き大いに期待させていただきます」と受賞者をたたえた。

受賞者代表として大林組東京本店の東出明宏常務執行役員は謝辞の中で「工事内容の多様化が進み、高速道路事業においても長寿命化対策や渋滞対策、保全業務、災害対応など厳しい条件が増えている。厳しい状況であるが日本の交通インフラの根幹である高速道路事業において、業務を通じてたゆまぬ貢献をしていく事が、建設業の重要な責務と考えている」と想いを語った。



安全安心快適便利な高速道路

東日本高速道路 執行役員関東支社長 千田 洋一

2024年度優秀工事および優秀業務を受賞されたこと、誠にありがとうございます。この度の表彰は、東日本高速道路の高速道路事業の一翼を担い、技術の発展に貢献し、日々ご尽力をいただいている会社、技術者の方々に顕彰するものです。受賞された皆さまの

功績に対し、深く敬意を表します。心より感謝を申し上げます。ロシアのウクライナ侵襲の長期化やパレスチナ・イスラエル戦争に起因した世界情勢の混乱や急激な円安など、われわれを取り巻く厳しい環境が続いています。そうした状況の中、わが社の高速道路事業を支えていただき、圏央道の4車線化や横浜環状南線の着実な

進捗、筑北スマートICや圏央道鶴ヶ島IC立体化の完成など、高速道路の安全安心のための補修、補強、更新、災害復旧など着実な事業執行を図ることができました。引き続き関係者各位には東京外環や圏央道をはじめとする新規路線の建設、スマートICの新設や改築、休憩施設の改築、4車線化、リニューアル工事など、旧交通路線における交通規制の制約や狭い場所の施工など、厳しい現場環境の中で高い難易度の技術や設計業務が数多くあります。このような現場状

況の中で、安全の確保や、周辺地域への配慮、生産性の向上などへの取り組みに高い技術力を発揮していただき、深刻化が進む高速道路の老朽化や労働力不足などの課題に私たちが連携しながら取り組んでいきたいと考えています。本年度から建設業に時間外労働上限規制が適用されました。私たちが発注者として工事円滑化やドライバーを制定し、現場における適切な運用と工事の円滑化を進め、さらなる品質の向上に務める所存です。将来にわたる建設業の担い手確保を実現することは極めて

重要であると認識しています。これまで以上に発注者間で連携し、新技術を取り入れながら生産性向上に努めていきたいと思っております。

高速道路は社会活動を支える重要な交通インフラであり、24時間365日、安全安心快適便利な高速道路サービスを提供する事を社会的使命と考えています。今後さらに老朽化が進む高速道路のリニューアルプロジェクトや防災・減災、国土強靱化、ミッシングリンクの解消、休憩施設の魅力向上、さらにカーシェアリングの実現に向けた取り組みや、次世代高速道路への対応などに取り組んで参ります。皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

中日本高速道路東京支社

20社が安全優良事業所

中日本高速道路東京支社(ネクスコ中日本東京支社、松井保幸支社長)は6月3日、東京千代田区の日経ホールにて2023年度安全優良事業所表彰式を開催した。安全管理や労働災害の防止に特段の工夫を行い、他の模範となるに相応しいとされた事業所を選出しており、建設事業部会からは竣工工事が2工事2社、施工工事が3工事4社、保全サービス事業部会から竣工工事9工事9社、施工工事中工事5工事5社の合計19工事20社が受賞した。

受賞者を代表して平井工業(静岡市)の漆原充土木部長が「このような栄誉を受け、感謝を申し上げます。当社は地場のゼネコンであり、東名高速道路の排水管路の更生工事を施工している。ネクスコ中日本の工事を受注するのは久しぶりで、不慣れな中でも、表彰していただけるのは、発注者や協力会社の皆様による支援のお陰であると感じている」と謝辞を述べた。

さらに、受賞工事について「高速道路工事は、高速道路利用者たちの安全と利便性の確保が最優先であると学び、常に意識して工事の計画と施工に臨んでいる。安全は全てに優先するという言葉に従い、高速道路上では利用者の影響を最低限にとどめる仮設計画を立案し、場内の作業においても地域の人たちとコミュニケーションをとり、安全で効率的な施工に努めた。インフラメンテナンスは、当社でも注力している分野。日本の象徴的な社会資本ストックである高速道路の長寿命化に寄与できるよう、技術力の研鑽を続けていきたい」と決意を表した。



東日本高速道路関東支社

中日本高速道路東京支社

受賞者: 世紀東急工業株式会社 北関東支店
工事名: 東北自動車道 宇都宮管理事務所管内舗装補修工事
工事概要: 東北自動車道(佐野藤岡IC~宇都宮IC間)、北関東自動車道(太田桐生IC~桜川筑西IC間)における舗装補修および東北自動車道佐野SA(下り線)の舗装改修(バリアフリー)を行った工事
受賞理由: 佐野SAのバリアフリー工事では確かな分割施工により利用者への影響を最小化し、高弾性上層路盤や橋梁グーラスファルトの施工では新技術の導入に寄与すべく施工体制を迅速に構築するなど安全管理および品質管理にも配慮し無事故無災害で工事を完成させた

受賞者: イガラシ綜業株式会社
工事名: 東京外環自動車道大泉IC~和光北IC間トンネル照明設備更新工事
工事概要: 三郷管理事務所管内のT.N照明設備の更新(約2.8km)および電力ケーブルの張替(約8km)を行った工事
受賞理由: 電力ケーブル取替の際に施工直前で既設電力ケーブルが不良となり早急に復旧工事が必要となったが、ケーブルの施工時期の見直しを行い現場制約に対応した人員を確保することで設備の早期健全化に貢献するなど安全管理および品質管理に配慮し無事故無災害で工事を完成させた

受賞者: 株式会社ナカミチ
工事名: 首都圏中央連絡自動車道 稲敷地区整備工事
工事概要: 首都圏中央連絡自動車道 稲敷IC~稲敷東IC間の四車線化工事に先立ち、橋梁工事・土工工事を実施するための工事用道路および工事用道路にかかる圍場設備(田んぼの排水関係)の整備を行った工事
受賞理由: 借地部の工事用道路造成に当たり、図面に無い埋設物に対して自ら探査検査や試掘を行うことで公衆災害を未然に防ぐ取組みを行うとともに土運搬ダンプの荷台清掃の安全対策として昇降設備や転落防止装置を設置するなど労働安全衛生に努め無事故無災害で工事を完成させた

受賞者: 大成ロテック北信越支社
工事名: 長野自動車道 筑北スマートIC舗装工事
工事概要: 長野自動車道の安曇野IC~麻生ICに新設される筑北スマートICに関する舗装工、管路工、標識工等を実施した工事
受賞理由: 先行工事からの引き渡し時期の遅延など厳しい工程条件のなか、関連工事と連携のうえ施工ステップを逐次見直すとともに、幅狭る現場状況に応じた体制を構築することで無事故無災害で供用目標に達れることなく開通させ事業全体の行程促進に寄与したこと

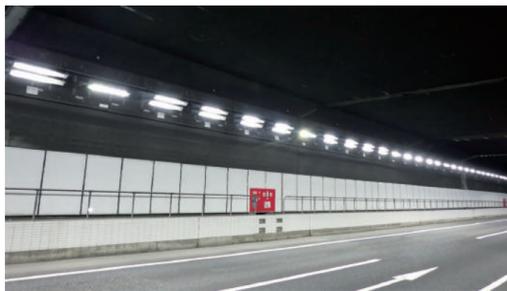
受賞者: 大日本土木株式会社東日本支店
工事名: 第三京浜道路 京浜管理事務所改築工事
工事概要: 京浜管理事務所における管理事務所棟および通信機械室・電気室棟の新築、仮設管理事務所棟の設置・解体を行った工事
受賞理由: 建築工事として初となる実施細部図作成付工事における設計部門と工事部門の連携を図るとともに、通勤時間帯の資材搬入ができない制約に対する資材搬入計画の立案や、複数の関連工事との施工調整を主体的に行いプロジェクト全体の工程管理に努めるなど安全管理および品質管理に配慮し無事故無災害で工事を完成させた

受賞者: 三井住友建設株式会社
工事名: 新東名高速道路 伊勢原地区コンクリート構造物補強工事
受賞理由: これまでに前例のない作業空間(狭小断面を有するP.C連続桁)において、有機溶剤を使用する作業で安全な作業空間を確保する換気設備を配置し施工。桁内への出入りに必要となる定場の寸法を作業員の体格に合わせて変更。予知できなかった損傷に対する補強工事における施工計画の立案と実施したこと

受賞者: 日鋪建設株式会社
工事名: 東名高速道路 一色東工事
受賞理由: 河川や隣接工事で進入路や工事施工ヤードの制限がありながら、約2年間無事故・無災害にて工事を実施。施工手順等を工夫しながら複数の施工業者と調整し安全作業環境を確保。道路の切り直しについて、道路を使用される近隣住民へ個別に丁寧に対応を行い安全に寄与し事業進捗に貢献したこと



中日本高速道路東京支社 安全優良事業所



IGA イガラシ綜業株式会社

代表取締役社長 五十嵐 則夫

茨城県日立市幸町2-8-6
TEL 0294-85-8100

東京外環自動車道 大泉IC~和光北IC間
トンネル照明設備更新工事

優秀工事

三郷管理事務所



DNC 大日本土木株式会社

東日本支店 小椋 克泰
執行役員支店長

東京都新宿区西新宿6-16-6
TEL 03-5326-3813

第三京浜道路 京浜管理事務所改築工事

優秀工事

京浜管理事務所

高速道路整備事業の
一翼を担う優良企業

(順不同)



大成建設グループ
大成ロテック株式会社

北信越支社 支社長 山本 達也

新潟県新潟市西区小針7-13-22
TEL 025-201-6717

長野自動車道 筑北スマートIC舗装工事

工程管理優秀工事

長野工事事務所



株式会社ナカミチ

代表取締役 中道 弘孝

茨城県常陸大宮市中富町976-4
TEL 0295-55-8817

首都圏中央連絡自動車道 稲敷地区整備工事

安全管理優秀工事

つくば工事事務所



世紀東急工業株式会社

北関東支店 支店長 堀 賢治

埼玉県さいたま市浦和区高砂2-1-1
明治安田生命浦和ビル3階
TEL 048-814-1095

東北自動車道 宇都宮管理事務所管内舗装補修工事

優秀工事

宇都宮管理事務所



日鋪建設株式会社

代表取締役社長 日高 真吾

東京都世田谷区池尻2-11-3
TEL 03-3418-1361

新東名高速道路 一色東工事

安全優良事業所

沼津工事事務所



三井住友建設株式会社

東京土木支店 執行役員支店長 大場 聡

東京都中央区佃2-1-6
TEL 03-4582-3131

新東名高速道路 伊勢原地区コンクリート構造物補強工事

安全優良事業所

厚木工事事務所

全国管工事業協同組合連合会 第64回通常総会・全国大会 in 鳥根県立産業交流会館

最前線で「命の水を届ける」

全国管工事業協同組合連合会(全管連)は18日、松江市の鳥根県立産業交流会館くにびきメッセで第64回通常総会・全国大会を開催した。全国各地から会員各社約650人が集った。あいさつに立った藤川幸造会長は、元日に発生した能登半島地震に触れ「1日も早い復旧・復興を願うとともに、厳しい環境下で復旧活動に当たった多くの会員組合や所属企業、全ての関係者に

改めて敬意を表します」と述べ、自身も被災地を訪れて、被災状況・復旧活動の確認やお見舞いを行ったことを報告。最前線で「命の水を届ける」とし、加えて「今後も十分な水道予算確保や業界に配慮した支援を要望して参ります」と力強く語った。当日は前半に通常総会、後半に全国大会を催した。



松原誠
国土交通省大臣
官房上下水道審議官



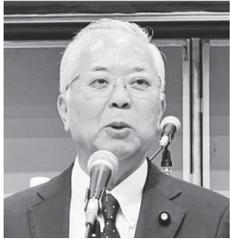
北野伸昭
松江管工事業協同組合理事長

全国大会 水道事業への 功績たたえる

全国大会は、中国ブロック長の高原豊明氏(広島県管工事業協同組合連合会理事長)による開会あいさつでスタート。開催地を代表して、松江管工事業協同組合理事長の北野伸昭氏は、鳥根県と松江市の紹介を交えながら、開催の喜びと感謝の言葉を述べた。

大会スローガンを採択

水道事業に対する全管連の功績をたたえ、全国大会開催の祝辞を送った。その後、1.若者の育成と技術技能の継承に努めて業界の未来を創ろう、2.地域密着の現場力・技術力を生かし迅速な災害復旧に貢献しよう、3.従業員の処遇改善を図り業界の魅力を高めよう、の大会スローガンを採択を決議した。



横山信一
参議院議員



足立敏之
参議院議員



上定昭仁
松江市長
(ビデオメッセージ)



丸山達也
鳥根県知事



松江市で開かれた全国大会

地域の守り手として 活動と存在意義を

全国管工事業協同組合連合会 会長 藤川 幸造



令和6年度全国大会の開会に当たりまして、一言、あいさつを申し上げます。

本日は、公務の多岐にわたる中、お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。先方、国土交通省様、鳥根県知事様、松江市長様をはじめ、多数のご来賓の方々にご臨席いただきまして、かきも盛大に全国大会を開催することができました。誠にありがとうございます。先方、国土交通省様、鳥根県知事様、松江市長様をはじめ、多数のご来賓の方々にご臨席いただきまして、かきも盛大に全国大会を開催することができました。誠にありがとうございます。先方、国土交通省様、鳥根県知事様、松江市長様をはじめ、多数のご来賓の方々にご臨席いただきまして、かきも盛大に全国大会を開催することができました。誠にありがとうございます。

通常総会 水道行政移管に対応 24年度事業計画を報告

通常総会では、2024年度事業計画等について報告。水道行政の移管後の地震対策について、管工事業界の諸課題への対応を3つの基本方針に設定した。

全国管工事業協同組合連合会

地域に根ざし、水道の安心・安全確保に貢献

略称・全管連(国土交通大臣認可団体)

令和6年度
全国大会
スローガン

- ・若者の育成と技術技能の継承に努めて業界の未来を創ろう
- ・地域密着の現場力・技術力を生かし迅速な災害復旧に貢献しよう
- ・従業員の処遇改善を図り業界の魅力を高めよう